

## 「幅広い」顧客ニーズに応える店舗をめざし ～ドミー岡崎駅東店オープン～

食品スーパーの(株)ドミーは29番目の店舗となる「ドミー岡崎駅東店」(店舗面積:1,487m<sup>2</sup>)を、JR岡崎駅東の区画整理による新住宅地に4月3日にオープンしました。

赤と緑が印象的だったこれまでの店舗とは異なり、ブラウンと白の落ち着いた外壁が象徴するように、すべての面でこだわりを取り入れたのが今回の特徴。「こだわりの商品」のアイテムを充実させ、メーカー推奨の「プレミアムコーナー」、ドミー独自のセレクトによる「セレクトコーナー」を設ける一方、お値打ちな「地場野菜コーナー」「鮮魚対面コーナー」「惣菜コーナー」の充実にも努め、より多様な顧客ニーズをとらえる品揃えとなっています。

代表取締役社長：梶川志郎 氏  
岡崎市柱町字下弁当8-3  
☎ (0564) 72-5440  
営業時間：午前10時～午後9時45分  
原則年中無休



「競争が激化するスーパーにおいて、他店との差別化は必須。食の安全への注目が集まる時代だからこそ、お得さに加え質の高い商品の品揃えにこだわった。これまで以上に様々なお客様のニーズに応えるスーパーを目指したいと。」と熱く語る梶川社長。

今後は更なる教育の充実をはかりながら、トータルで満足いただける店を目指し、次のチャレンジにつなげていきたいとのことです。

## 女性部新会長インタビュー “新たな取り組みに向け明るく、楽しく、元気よく”



三州商事㈱  
代表取締役 鬼武孝江 氏

女性部はこれまで、花づくりや、よさこい踊りを通して、地域の活性化を目的に様々な活動をしてまいりました。花を通したまちづくり活動については、地元の方々にもご参画いただきながら、康生に続き昨年度JR岡崎駅周辺地区においても“花・華応援隊”が結成されるなど、少しづつ目指してきたかたちが見えつつあるように感じています。来年度は女性部結成20周年の節目の年。今年はその節

目の年に向け準備委員会を立ち上げ、新たに「地産地消」をテーマとした地域活動に取り組み、来年度に繋がるきっかけをつくれればと思っています。まずは視察も含めた勉強会を活発に行う中で「地産地消」についての理解を深め、様々な機会を通してネットワークを広げていきたいと思っています。話合いの中ですでにいくつかの動きが見え始めており、新たなチャレンジへの期待感を感じているところです。

女性の感性をいかし地域活性化に向けて新たな視点を持って取り組める組織を目指していきたいと思っています。

## ナニコレ vol.25 『しずくに隠された秘密』

人間環境大学ものづくり研究会

使い込まれてすり減った角。見た目はしつくりと手に馴染みそうで、桶には珍しいしずく形をしている。名前は「こどり桶」。

変則的な形の桶は作るのが難しいにもかかわらず、この形になっているのには何か理由があるのだろうか。

見つけたのは半田にあるミツカン工場「博物館酢の里」。創業当時（1804年）はすべ

ての工程を人力で行っていた。その作業中、酢の原料になる醪（もろみ）を移すときにこぼれないようにこの形にしたのだ。

捨てられていた酒粕から酢を作り成功した、創業者の「もったいない」という食べ物を大事にする心が、このような形の桶を作らせたのではないのだろうか。（五十棲）



もっと私たちの活動を知りたい方はこちらへ… ものけんHP <http://fs.uhe.ac.jp/~aoao/monokenblog/>